

安全・安心な暮らしを守る



災害に備える

予算額 400万円

- ・区民の皆さまの防災力を強化するため、地域防災リーダー研修会の実施や、WEB版の防災・水害ハザードマップの更新をします。(222万円)
- ・災害が起きたときのスムーズな避難所運営のため、タブレットPCにより多言語で対応します。(178万円)



多様性を尊重し、認め合う

予算額 138万円

- ・人権啓発活動をはじめ、外国籍住民も安心して暮らせるように、防災や生活情報の多言語・やさしい日本語での発信を進めるとともに、地域での交流を促進します。



身近な見守り・支え合い

予算額 4,556万円

- ・地域で支援が必要な方を把握し、専門機関につなげるなど、平時の見守り活動や、災害時の避難支援強化の取組みをサポートします。

子育て・教育環境の整備



子育てをトータルに安心サポート

予算額 411万円

- ・区の保健師と顔の見える関係をつくることにより、妊娠期から出産、乳幼児期から就学期にわたって、各ライフステージをトータルに継続支援します。

絵本を通じた親子のふれあい

予算額 151万円

- ・さまざまな子育て応援イベントのほか、広く絵本に親しめるイベントを実施するとともに、絵本読み聞かせボランティア育成にも取り組みます。

未来を生き抜くためのチカラを養う

予算額 726万円

- ・子どもたちが自らの力で未来を切り開く力を身につけることができるように、学校の希望により区内の小中学校に講師を派遣し、「キャリア教育」や「性・生教育」を支援します。
- ・民間事業者が中学校で課外授業を行うとともに、大学生などによる悩み・進路相談の場を設け、子どもたちが自ら描く将来像の実現に向けて、学ぶ力をつけるように支援します。(528万円)



住みたいまちNo1に向けて



ものづくりの生野をもっと感じてもらう

予算額 738万円

- ・ものづくりのまちである生野をPRするためのリーフレット「ものづくり百景」を充実させるとともに、ものづくり企業に対する興味を深め、将来の担い手につながるため、ものづくり企業の見学会、インターシップを開催します。(168万円)
- ・日本の木材を使ったデザイン性の高いイスやテーブルの製作を通じて、子どもたちにもものづくりの楽しさを学んでもらうとともに、地域イベントとして活用することで、まちのにぎわい・コミュニティづくりを促進します。(570万円)



空き家から素敵な暮らしをつくる

予算額 54万円

- ・空き家の利活用事例を紹介するとともに、空き家活用サポーター制度を活用し、空き家の利活用をこころざす方々を支援します。

広報紙で生野の魅力をお届けする

予算額 2,016万円

- ・大切な行政情報はもちろん、「来たい、住みたい、住み続けたいまち・生野」をめざして、生野の多彩な魅力を区民の皆さまへお届けします。



2019年度 生野区運営方針より一部抜粋

生野区 運営方針

検索

